

循環病態医科学

(旧・内科学第三講座)

小林 欣夫

循環病態医科学は，1974年12月16日に内科学第二講座の循環器グループが独立するかたちで，内科学第三講座として開設され，初代教授として稲垣義明先生が就任した。開設時より教室の主な専門分野は循環器学であった。稲垣教授が研究，臨床，教育の調和のとれた教室を作り，発展してきた。研究領域としても，循環力学，画像診断，虚血性心疾患，不整脈，大動脈疾患，動脈硬化，高血圧など広範囲に及んだ。教室の動向としては，1977年10月，木下安弘助教授が保健管理センター所長（教授）に就任した。1978年12月，第三内科懇話会が発足した。1983年6月，稲垣教授が第6回日本バイオレオロジー学会を主催した。1985年1月，稲垣教授が，第6回日本成人病学会，11月，第26回日本脈管学会を主催，また3月，医学部附属病院長に就任した。1986年4月，小川道一助教授が電気通信大学保健管理センター教授に就任した。12月，第三内科同門会が発足し，初代会長に小川道一先生が就任した。1987年4月，冠動脈疾患治療部が発足し，初代部長に稲垣教授が就任（兼任）した。1989年4月，坂口明講師が自治医科大学附属大宮医療センター（現さいたま医療センター）高血圧科助教授に就任された。1991年2月，稲垣教授が第10回日本画像学会を主催した。1993年3月，稲垣教授が第57回日本循環器学会を主催した。同月，稲垣教授が定年退官され名誉教授となった。

1993年8月，増田善昭助教授が第二代内科学第三講座教授に就任し，冠動脈疾患治療部部長を兼任した。教室における研究領域は，これまで通り広範囲に及んだが，特に循環器画像診断においては，日本有数の施設として広く知られていた。また，分子生物学における研究も開始された。1997年5月，増田教授が第20回日本バイオレオロジー学会を主催した。1998年1月，増田教授が第32回日本成人病学会を主催した。2000年3月，増田教授が日本心臓核医学会を主催された。10月，小室一成先生が助教授として，東京大学より赴任された。2001年3月，増田教授が定年退官された。

2001年4月，千葉大学は大学院大学に改組され，内科学第三講座は医学研究院先端応用医学講座循環病態医科学となり，小室一成助教授が第三代教授に就任し，冠動脈疾患治療部部長を兼任した。2004年1月，小宮山伸之講師が埼玉医科大学心臓内科教授に就任した。4月，臓器別再編に伴い，附属病院第三内科は循環器内科となった。2002年10月，小室教授が科学研究費補助金特定領域研究国際シンポジウム——心不全の戦略的研究——発生工学を用いた心不全の病態解明と遺伝子・細胞治療を主催した。2007年6月，小室教授が第24回国際心臓研究学会日本部会総会を主催された。2009年3月，小室一成教授が大阪大学循環器内科学教授となり，当科教授と兼任となった。2010年3月，小室一成教授は退官さ



2011年6月 附属病院第1会議室にて 医局員一同

れ，客員教授となった。

この時期は，小室教授の指導のもと，循環器基礎研究が発展を遂げた。永井敏雄准教授，高野博之講師，南野徹講師，長谷川洋助教，宮内秀行助教，舘野馨助教の主導により，心筋再生医療，心肥大，心不全の発症メカニズム，虚血性心疾患に対するサイトカイン治療，血管老化のメカニズムの解明，末梢血単核球を用いた血管再生治療など最先端の研究がなされ，Natureなどにその成果が掲載された。この基礎研究をもとに，トランスレーショナルリサーチも盛んに行われた。末梢血単核球を用いた重症閉塞性動脈硬化症に対する研究は，その成果が高く評価され，末梢血単核球を用いた重症虚血性心疾患に対する治療も心臓血管外科との共同研究として進行中である。また，顆粒球コロニー刺激因子を用いた急性心筋梗塞に対する治療に関しても，海外施設も含めた共同研究が進行中である。

臨床ならびに臨床研究においても，稲垣，増田教

授よりの伝統である循環器画像診断を船橋伸禎講師がいっそう発展させた。不整脈分野においても上田希彦助教が発展させた。また，虚血性心疾患においては，冠動脈疾患治療部小林欣夫講師の主導により，循環器救急部門の整備が行われ，急性心筋梗塞を始めとする緊急疾患を24時間体制で受け入れ，地域医療の面で高い評価を得た。2010年11月からは4床のCCUも開設され，大学としての役割である，3次救急に対する対応もいっそう充実した。虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈形成術施行件数も2009年度は353件と国立大学病院においては4番目に多い症例数であった。

2011年2月，小林欣夫講師が第四代教授に就任し，冠動脈疾患治療部部長を兼任した。循環病態医学は，地域医療から最先端の研究までを目指して，日々研鑽している。

(こばやし よしお)